

義経岩、フリークライミングの世界にカルチャーショック

杉田 想土

2000年の夏、Ⅱ年目沢でフォールし、私はその反動からかクライミングに励んでいた。秀岳荘の人工壁で遊んでいるうちに、本格的にフリークライミングをやってみたくなり、今(Ⅲ)、宍倉(Ⅲ)と本当の岩場に行ってみようということになり、場所は義経岩が選ばれた。義経岩は洞爺湖畔にあり、南向で温かく秋の岩場として親しまれているらしい。その昔かの源義経が逃げてきたという話があり、その義経を祭る祠がある(その祠の周りをクライミングする様は非常に罰当たりで、お参りにきた老夫婦は呆れた顔をしていた)。

11月5?日、8時くらいに岩場につく。一番乗りであったが準備をしているうちに続々と人がやってくる。我々はメットを持参したがそんな人は誰もいない。フリーの世界では当たり前前。

初心者の我々はこの岩場では最も簡単なルート「看板ルート(5.9)」に挑戦することにした。しかし、上に回り込めないのではじめはリードしなくてはならない。3人の中ではうまいと思われる私のはじめに登ることになった。それなりに自信はあり、オンサイトを狙ったのだがあっさり敗退。難しいし、リードなので思い切っていけない。行きつ戻りつじわじわと2本目のボルトまでなんとかクリップ。しかし3本目が遠い。諦めて今、宍倉に代わるが同じく登れず。周りは5.10や5.11のルートをさくさくと登っている。そうこうしているうちに込んできた。5.9で苦戦しているのは結構恥ずかしい。とりあえず撤退を決定。しかし、2本目までクリップしてしまったのでヌンチャクを回収しなくてはならない。何とかクライムダウンをして2本目は回収に成功。しかし1本目がなかなか回収できない。初心者丸出しで恥ずかしい。見かねたおじさんが肩車をしてくれた。なるほど。

5.9が登れないのではすることもないので、とりあえず見学。皆うまい。がんがん登っている。すると、ピオレ山の会のおじさんがセットされたトップロープを使っていいという。そういえばさっきから違う団体同士でロープやヌンチャクをどんどん貸し借りしている。これもフリーの世界では当たり前なのか。せつかくなのでありがたく借りることにする。

今度は「松の木(5.10a)」に挑戦。長いルートで下部が核心。散々苦戦した末、何とか核心を超え、上まで到達。今、宍倉は敗退。ショックを受けたのか今は車で寝るとかいいです。

宍倉と2人で先ほどの「看板ルート」に再度挑戦。今度はトップロープで他の人の登りも見ていたのでクリア。宍倉はまたも敗退。

またまた見学していると、先ほどのピオレのおじさんが5.11のルートのレッドポイントに成功。どうやら初の5.11らしく、拍手喝采。決してスリムではなく(むしろ太い)見た目はただの中年のおじさんなのに・・・すごい。5.12に挑戦しているねーちゃんはフォール(リードで)しまくり。宍倉と2人でこれにもビビる。これもフリーの世界では当たり前

前なのか。

来夏は彼らのようになることを誓い、挨拶して帰ることにする。ロープを貸してくれてほんとに楽しめました。我々だけでは何もできなかったことでしょう。新たな世界を見れてとても有意義な一日であった。山スキー部でももっとフリークライミングを！！

注 オンサイト・・・・・・初見、リードで完登すること。他人の登りを見たりするのもだめ。

レッドポイント・・・・リードで完登すること。なんとトライしてもOK。他人の登りを見てもOK。